



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2014-2015年度 R I 会長 ゲイリー C.K. ホアン



第2590地区 ガバナー

大野 清一

- 会長 山田 正憲
- 会長エレクト 江森 国一
- 副会長 天野 公史
- 副会長 鴻 義久
- 幹事 植田 清司
- 副幹事 朝日 達夫
- 会計 渡邊 淳
- 副会計 白井 康夫
- S A A 小山市 康
- 副 S A A 長井 章
- 副 S A A 青柳 紀
- クラブ会報 竹山 洋



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555

例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン

創立記念日 昭和 51 年 5 月 29 日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2014-2015年度 第16週報 No. 1857 2014年(平成26年) 10月24日 第1857回例会記録 10月31日発行

司会 朝日 達夫 副幹事

誕生日祝 加野 亮一 会員 (10月28日)

点鐘 山田 正憲 会長

斉唱 「手に手つないで」

四つのテスト 角田 伯雄 職業奉仕委員長 (第1例会のみ)

ゲスト紹介 渡邊 一美 様 (ゲストスピーカー)

ビジター紹介 倶知安 R.C 尾崎 春人 様



本日〈10月31日〉のプログラム

夜間例会

<< 本日の B G M >>

「WHEN IT'S SLEEPYTIME DOWN SOUTH 外」

結婚記念日祝

天野 公史 会員 (10月29日)
伊澤 政宏 会員 (11月5日)

入会記念日祝

田邊 正彦 会員 (10月31日)

出席報告

保坂 一成 出席副委員長

会員総数	56名	(33+23)名	
出席会員数	39名	(27+12)名	
出席率	86.67%		
ゲスト	1名	ビジター	1名
前回補正後	96.00%	前々回補正後	92.00%

スマイルボックス

小山 市康 SAA

俱知安R.C 尾崎春人様 すでに冬が始まった国から秋始まった国の皆さんへご機嫌を伺います。

富居利貞君 お誕生日祝いと結婚記念日祝いをありがとうございます。

田邊正彦君 ①入会祝い、ありがとうございます。②昨日の第3テーブルミーティング、楽しかったです。マスター 保坂様、副マスター 伊澤様、ご苦労様でした。

伊澤政宏君 ①結婚祝い、ありがとうございます。②昨日、第3テーブルミーティング参加の皆様、ご苦労様でした。保坂マスター、ありがとうございます。

天野公史君 ①結婚記念日祝い、ありがとうございます。いつの間にか25年の節目を迎えていました。②昨日は保坂テーブルマスター、伊澤サブマスター、ありがとうございます。加藤さん、ご馳走様でした。

加野亮一君 誕生日のお祝い、ありがとうございます。今後ともご指導よろしくお祈いします。

山田正憲君 ①渡邊一美様、本日のお話楽しみにしています。②第3テーブルミーティングに参加の皆様、昨日の料理、本当に美味しかったですね。保坂テーブルマスター、ご苦労様でした。

石川正三君 ①本日は私の33回目の入会記念日です。昭和57年10月23日321回の例会がスタートですから本日は私にとって1537回目の例会ということになります。まだ少しの間頑張りますのでご支援の程……。②月山さん、昨日はご馳走になり恐縮でした。

吉田隆男君 昨日、最高裁判所に於いて、最高裁判所長官表彰を頂きました。

河野明光君 昨日の第3テーブルマスター 保坂さん、ご苦労様でした。

加藤仁昭君 昨日のテーブルミーティング 保坂さん、参加の皆様、お疲れ様でした。食事とワインが美味しかったデス！

植田清司君 ①昨日のテーブルミーティング、急用が出来て欠席してしまい、申し訳ございませんでした。テーブルマスターの保坂さん、副マスターの伊澤さん、ごめんなさい。②渡邊様、本日の卓話、よろしくお祈いします。

茂木知子さん ～刺激を求めよう～来週はハロウィン

友添辰哉君 山本先生、お世話になりありがとうございます。

佐藤勝彦君 渡邊様、本日は卓話、よろしくお祈いします。また、所用があり例会後のテーブルミーティング、欠席となります。

保坂一成君 第3テーブルの皆様、お疲れ様でした。また、月山さん、ありがとうございます。

**会長報告**

山田 正憲 会長

- ・大野ガバナーより公式訪問のお礼状が届いておりますので報告致します。
- ・地区大会チャリティーゴルフ大会に参加された加藤会員にニアピン賞が届いておりますので贈呈します。

**幹事報告**

植田 清司 幹事

- ・次週、例会は夜間例会となります。点鐘は18時ですので、お間違えないようお願い致します。また、次々週の例会に於きまして、臨時総会を開催します。例会への出席をよろしくお祈いします。
- ・山本登会員が盛岡ロータリークラブにてメーキャップをされ、バナーを交換されてきていますので回覧します。

小山市康君 昨日のテーブルミーティングにご出席の皆様、お疲れ様でした。保坂マスター、伊澤副マスター、大変有意義な内容でした。ありがとうございました。

10月24日	17件	45,500円
本年度累計		716,580円

卓 話

「日本人とゴルフ」

元日本タイトリスト社長 特定非営利活動法人 理事長
渡邊 一美 様
(紹介者 佐藤 勝彦 会員)



皆様の中で、ゴルフをなさる方はどのくらいいらっしゃいますか？嘗てはなさったけど、今は止めている方は？これからやってみようという方は？

ゴルフは、腕が動いて歩くことさえ出来れば90歳になっても100歳になっても出来るスポーツです。HDCPというシステムがあるので、20歳の若者や8歳の孫とも楽しく競い合うことができる唯一のスポーツです。また、ゴルフを一緒にプレーしているとその人の性格が良く判ります。本性がむき出しになってしまうので、品格が暴露されてしまうので、友人を選ぶには絶好のツールです。

今年、世界のゴルフで最大の話題は、9月にシカゴのメダイナCCで開催されたアメリカと欧州の対抗戦、Ryder Cup でした。前回に続き、好調の欧州がタイガーウッズの居ないアメリカに勝ったことは皆様よくご存じだと思います。この2年に一回開催される大会は、賞金が一切出ないのに、参加する選手が目の色を変えて真剣勝負に挑む熱い戦いです。

一方、今年日本のゴルフにとって記念すべき大イベントが開催されました。8月に軽井沢72での世界アマチュア選手権大会であります。日本での開催は1982年の川奈以来、52年ぶりです。

今年は男子が67ヶ国、女子は50ヶ国が参加し、優勝したのは男子がアメリカ、女子はオーストラリアです。日本は男子が人口205万人のスロベニアに次ぐ29位タイ、女子は50ヶ国中8位タイでした。

日本は1974年以来2位が3回、1984年の香港では男子だけでしたが、日本はチーム優勝、阪田哲男氏が個人で1位でした。折角久しぶりに日本で開催されたのに、地元の利を生かせなかった日本です。ちなみに、アマチュアの世界ランキングでは男子は94位の小西健太が最高で、女子は30位の勝みなみと60位に長井加奈が居るだけです。

プロの世界で今年のゴルフで明るいニュースは、松山英樹のアメリカでの優勝です。ニクラウス設計のMurfieldで行われたMemorial Tournament でした。2001年から2003年まで毎年Milwaukee, Byron Nelson, Chrysler Classic と3勝した丸山茂樹以来の快挙と申せましょう。

歴史を辿ると

ゴルフの起源はScotland, Holland、中国と諸説あります。今のゴルフに近いスポーツとなったのは1457年、スコットランド国王James 2世がゴルフ禁止令を出した頃です。1750年にはエジンバラとSt. AndrewsにGolf Clubが出来た。1860年には初の全英オープンが開催され、1890代には清教徒の移民と共にアメリカに渡りました。

そして日本には1901年神戸GC(4H)が、英国貿易商アーサー・ヘスケス・グルーム氏により初めて作られました。関東には1913年銀総裁や大蔵大臣を務めた井上準之助が日本人により日本人の為の初めてのゴルフ場として、東京駒沢に東京GCを作ったのが最初。この横浜にはそれより早く、1906年外人用に「ニッポン・レース・クラブ・ゴルフイング・アソシエーション(NGCGA)」というものが根岸の競馬場中央の土地に9ホール2473ヤード、パー34のコースとして誕生。サンドグリーンではなく、日本初の芝草グリーンだったそうです。

日本初のパブリックコースは雲仙ゴルフ場で1912年に県営として開場された。グラバー邸の血を引く倉場富三郎が取り仕切りました。キャディー代含め20銭、今の1,000円から2,000円でありましょうか。(Golf Ball: の規定サイズは1.68インチ(約4.3cm)以上、45.93g以下、Hole: の大きさは4.25インチ(約10.8cm)、Golf Rulesは1858年R&A G C of St. Andrews が制定しました)。

昭和天皇は16歳で仙石原でデビュー、秩父宮、高松宮と熱心に。吹上御殿には6ホール、新宿御苑にもショートホールがあった。

1922年Prince of Walesと駒沢で親善試合。宮内庁は静岡にもゴルフ場を造りましたが昭和天皇は戦後にビタリと止められました。皇室では常陸宮夫妻がゴルフ好き。妃殿下の2013年Lakewood GCでのスコアカードは45・48の93くらいだったと思います。

初期の日本人ゴルファーは政治家、財界の重鎮、貴族などで所謂ブルジョアのスポーツであった。欧米留学から帰って腕を上げた人が多いようです。大谷光明、赤星四郎・六郎兄弟、近衛文隆、記録に残っている最初の日本人ゴルファーは1896年Royal Black Heath Golf Clubでプレーした、海軍からイギリス留学中だった水谷叔彦。国内では1907年に神戸GCに入会した小倉正太郎、女子ではその妹の小倉末子と言われています。

日本で最初のゴルフブームが起こったのは昭和32年(1957年)霞が関CCでのカナダカップ(今のワールドカップ)で中村寅吉と小野光一(孫)が組んで優勝した時をきっかけに。

第二次ブームはジャンボ尾崎、青木の出現、天才少年中嶋常幸も加わってパブルと共に発展、多くのゴルフ場が建設された。丸山茂樹と伊沢利光が2002年メキシコで優勝。女子では2005年南アフリカで宮里藍と北田瑠衣が優勝しました。

【今のゴルフ産業】

ゴルフ場

1990年のゴルフ場の総資産は60兆円もありました。今は4兆円に激減しています。日本の全ゴルフ場数2,400コースで割ると1コース当たり17億円で過ぎません。パブルの時は18ホールのゴルフ場を造るのに最高200億円を超える費用がかかっていました。今ではアメリカ資本の企業が300コース近くのゴルフ場を安く買収し経営していますし、中国や韓国系の資本もひとつのゴルフ場を3億、4億で買い叩いています。中にはゴルフ場を潰して太陽電池による発電施設にしたり、水資源として投資するところもあるようです。会員権相場は最盛期の40分の1、市場規模は10分の1に縮小しています。1,000万円の会員権は今や25万円の価値しかない、と言う按配です。

ゴルフ場は午後3時を過ぎると空いているホールがいくつか出てきます。そこを使って子供達が大人のコーチのもとでゴルフに興じる姿は、アメリカのゴルフ場では極普通に見られます。しかし日本ではなかなかこのような光景にはお目にかかれませんが。将来の顧客を育てるという長期的視点に立って、ゴルフ場も今から若いゴルファーの育成に真剣に取り組み、協力すべきでしょう。

ゴルフ用品市場

ゴルフ道具の市場規模は最盛期の半分、2,000億円程度に減っているとされます。過当競争により、メーカーが乱立し、中国の安い生産コストを利用して増産を続け商品が溢れかえって価格破壊を招き、商品に対する信頼性も落ちてしまいました。性能的にはほぼ限界に達し、新商品が必ずしも旧商品に比べて目覚ましく違う、という時代ではなくなりました。それはボール、ゴルフクラブ、ゴルフシューズ等、全ての商品について言えることです。かつてはサラリーマンの年収に匹敵する程高価であったゴルフセットは、今や1ヶ月分の給料以下で全てが揃えられます。これはゴルファーにとっては悪いニュースではありません。

子供達が使うゴルフクラブは大人用を短く切って、グリップを細くすれば良い、という考え方は間違っています。子供の身長に合わせた正しいライ角度と重さのクラブが正しいスイングを身に付ける為には必要です。ジュニア用のクラブには、体格の成長に合わせて3～4種類のセットが必要です。今ジュニア用のクラブを作っているメーカーはそう多くありません。

今後若し日本でもゴルフが学校教育に取り入れられ、The First Tee Program が全国に普及するようになれば、爆発的にゴルフ人口が増え、ジュニアクラブへの需要が増大します。この明らかなメリットに気付いて、The First Tee Program の成長に期待しているメーカーはいくつかあるようです。

ゴルフメディア

1980年に全米オープンで青木がニクラウスと死闘を演じた時、中継したTVの日本の視聴率は14%もあった、と聞いています。最近

では御殿場の太平洋クラブで開催されたワールドカップの最終日、タイガーウッズが18番のグリーンエッジから放り込んでイーグルを決めた時も視聴率は二桁に乗りました。石川遼君や宮里藍ちゃんが優勝したトーナメントでも高い視聴率が取れました。然し、今では5%以上をとる試合は極稀で、TV局も週末のゴールデンアワーにゴルフトーナメントの中継を入れることには消極的になっていきます。男子に比べて高かった女子のプロゴルフトーナメントでも、日本人プロの勝利が減ってくると、中継も短くなったり、無くなったりする恐れがあります。

アメリカの女子プロトーナメントでは韓国選手の圧倒的な活躍により、既に視聴率は下がり、試合数もギャラリー動員数も減少しているようです。日本のプロトーナメントは元来テレビ局主体で開催されて来たので、彼等は視聴率に非常に敏感なのです。視聴率が高ければ良いスポンサーにCMを高く売ることが出来、その逆は命取りになるからです。最近漸く Golf Network や Golf Channel のようなケーブルネットワークのトーナメント中継が評価され、視聴率も少しづつ上昇しているようです。アメリカの ESPEN のようなスポーツ専門チャンネルが日本で育てば、質の高いトーナメントの中継が出来るようになるでしょう。

昔のゴルフ雑誌は Golf Digest, Asahi Golf, Par Golf という3大ゴルフ週刊・月刊誌が売れに売れてブームを謳歌していました。今では Asahi Golf は廃刊となり、Par Golf は他社に売られ、しつかり生き残っている Golf Digest もかつての販売数から相当減っているとされます。アメリカでもタイガーウッズ全盛の頃に比べてTVの視聴率、ゴルフ雑誌の売れ行き共減少に転じあいます。タイガーに代わる新しいヒーローの誕生が待ち望まれます。

このように、ゴルフメディアの盛衰はひたすらヒーローの活躍に依存しているのです。この点は野球・サッカーやテニス、相撲でも同じでしょう。

ゴルフの将来

皆様良くご存じのとおり、ゴルフは7歳の孫と80歳のお爺ちゃんが同じゴルフ場でHDCP(ハンディキャップ)という便利なルールの中で一緒に競える唯一のスポーツです。他にこのようなスポーツはありません。しかも長い距離を歩けなくなってもカートに乗ってプレーは可能です。

10月4日に103歳になられた日野原重明先生は101歳の時にレイクウッドで9ホール回られました。スコアは確か67位だったと記憶しています。

こんな素晴らしいスポーツですから、大半は見るだけのサッカーや野球と違って自分でやるスポーツとして自然の中で小鳥の歌を聴きながら、緑や山を眺めながら末長く楽しみたいものです。

次回《11月7日》の卓話予定

テーマ 「未定」

テニスショップ オンコートラケット 代表 細谷 理 様
(紹介者 佐藤 勝彦 会員)